

2020 年 12 月 10 日
株式会社ドクタートラスト

ストレスチェック 80 項目からわかるハラスメント被害者の三大特徴

～上司の態度、職場の対人関係で顕著～

株式会社ドクタートラスト（本社：東京都渋谷区、代表取締役：高橋雅彦、以下「ドクタートラスト」）のストレスチェック研究所では、ストレスチェックサービスを利用した累計受検者 70 万人のデータを活用し、さまざまな分析を行っています。

今回は 2019 年度にストレスチェックサービスを利用したうち、66,457 人の結果を分析し、「職場でハラスメントを受けていると感じる」と回答した人たちにみられる特徴を調査しました。

【結果概要】

ストレスチェックで「ハラスメントを受けていると感じる」と回答した人たちは、次の特徴がみられることがわかりました

- ① 「上司の態度が公正でない」と感じている
- ② 「職場の対人関係が良くない」と感じている
- ③ 「イライラ感」が強い傾向にある

【調査結果】

1. 始めに～調査対象の概要～

ストレスチェック制度は、従業員のメンタル不調の予防や気づきを促すこと、またストレスが高い者に対してのケアや把握を職場環境改善の見直しを目的としたもので、2015 年 12 月以降、従業員数 50 名以上の事業場で年 1 回の実施が義務づけられています。

ドクタートラストが提供するストレスチェックサービスは、設問数 80 項目と 57 項目の 2 種類を用意し、ご利用いただく法人さまに、どちらを使用するか選んでいただいています。

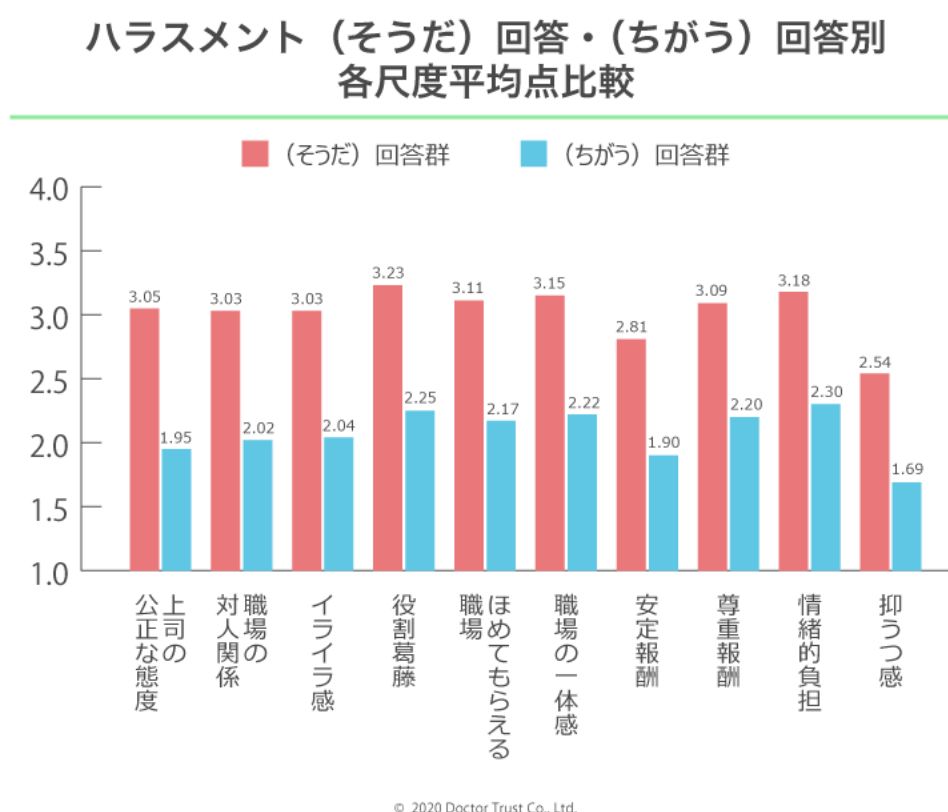
このうち設問数 80 項目のストレスチェックは、受検結果を 42 尺度から分析します。今回の調査結果は、2019 年度にこの 80 項目のストレスチェックを受検された 66,457 人の結果を分析したことで得られたものです。

本調査では各尺度の点数を 1.00～4.00 で表し、数値が大きいほど不良な（≒よくない）点数として取り扱っています。

2. 「職場でハラスメントを受けていると感じる」と回答した人たちには、3 つの大きな傾向がみられる

ストレスチェックの設問「職場でいじめにあっている（セクハラ、パワハラを含む）」で「そうだ」と回答した方と、「ちがう」と回答した方について、全 42 尺度の平均点の比較を行いました。その結果、すべての尺度において「職場でいじめにあっている（セクハラ、パワハラを含む）」で「そうだ」と回答した方の平均点のほうが点数が高い（不良な結果）であることがわかりました。図 1 は全 42 尺度中、平均点の差が大きかった上位 10 尺度です。

図 1



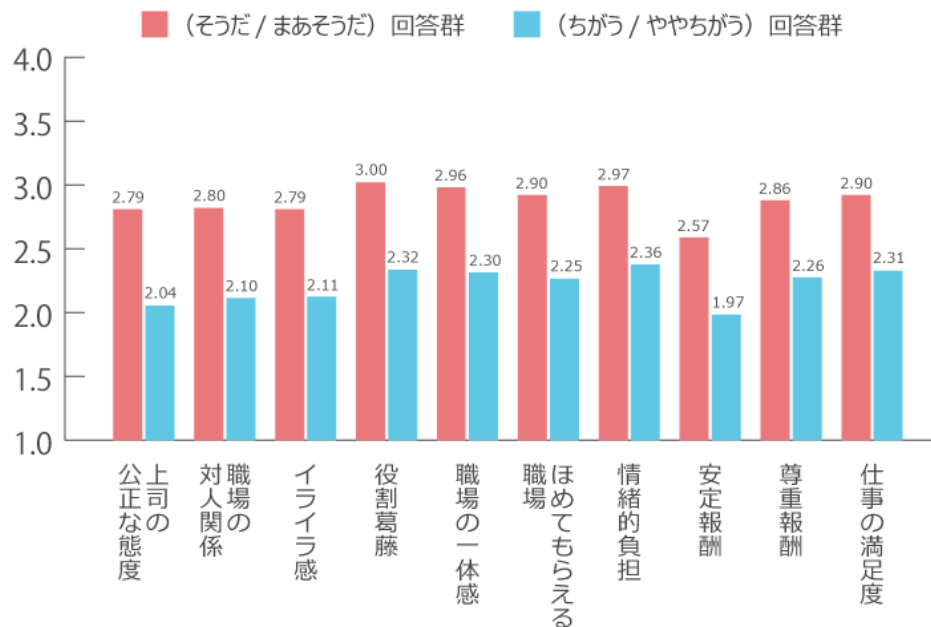
上位 10 尺度のうち、特に差が大きかったのは、次の 3 尺度です。

- ・ 上司の公正な態度
- ・ 職場の対人関係
- ・ イライラ感

また、設問「職場でいじめにあっている（セクハラ、パワハラを含む）」において「そうだ」「まあそうだ」と回答した方と、「ちがう」「ややちがう」と回答した方について、同様に全 42 尺度の平均点の差を比較したところ、やはり「上司の公正な態度」「職場の対人関係」「イライラ感」が上位 3 尺度としてあがりました（図 2）。

図 2

ハラスメント（そうだ、まあそうだ）回答・ （ちがう、ややちがう）回答別 各尺度平均点比較



© 2020 Doctor Trust Co., Ltd.

以下では、上位 3 尺度についてみていきます。

3. ハラスメントを受けていると感じる人は「差別感に敏感」な可能性が高い

尺度「上司の公正な態度」の結果は、ストレスチェック調査票の設問「上司は誠実な態度で接してくれる」への回答から導出されます。ハラスメントを受けていると感じている人は、上司の態度が公正でないと感じている点が傾向の一つとしてみられ、自分と周りの人への接し方の差など部署内での温度感の違いを感じやすいと考えられます。

4. ハラスメントを受けていると感じている人の所属部署では、「意見の食い違いが起こっている」可能性高い

尺度「職場の対人関係」の結果は、ストレスチェック調査票における、次の 3 つ設問への回答から導出されます。

- ・ 私の部署内で意見が食い違う
- ・ 私の部署と他の部署とはうまく合わない
- ・ 私の職場の雰囲気は友好的である

設問からわかるように、尺度「職場の対人関係」は、「部署内」、「部署間」、「職場内」の 3 つの観

点に分かれています。そこで、これらのうち特にどこに問題が生じているか、設問「職場でいじめにあっている（セクハラ、パワハラを含む）」に「そうだ」と回答した方（＝ハラスメントを受けている人、感じている人）のそれぞれの設問への回答状況を比較しました（図3～5）。

その結果、ハラスメントを受けていると感じている人は「部署内」で意見の食い違い等の問題が発生している傾向にあるとわかりました。

図3

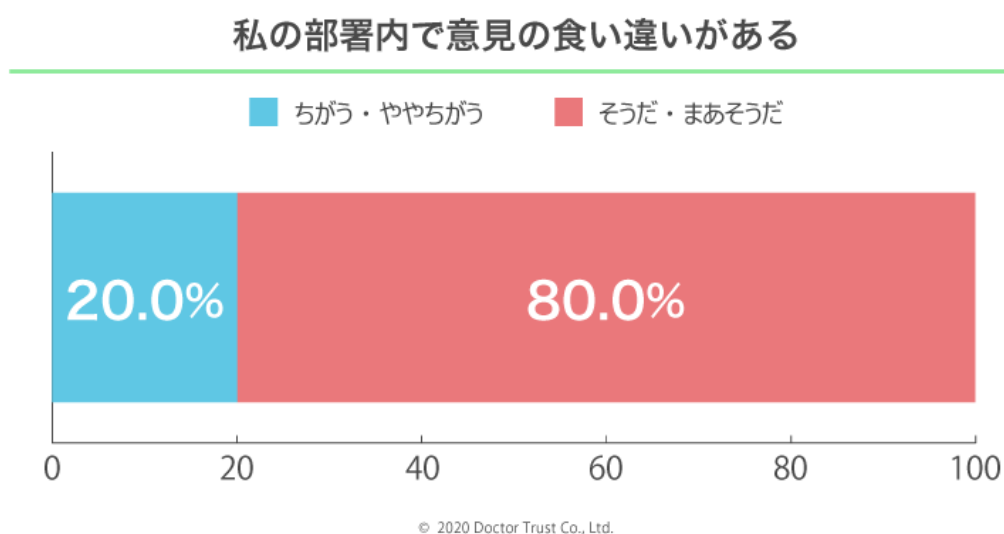


図4

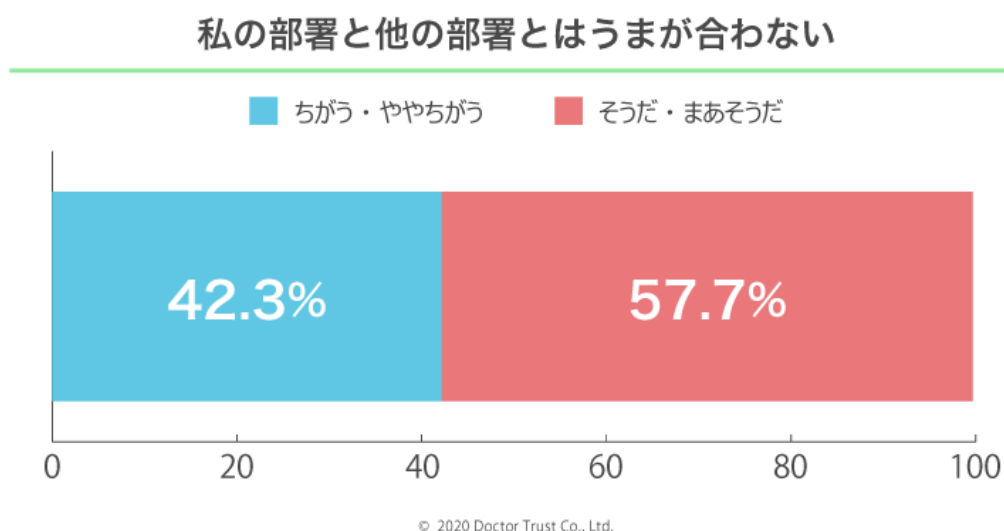
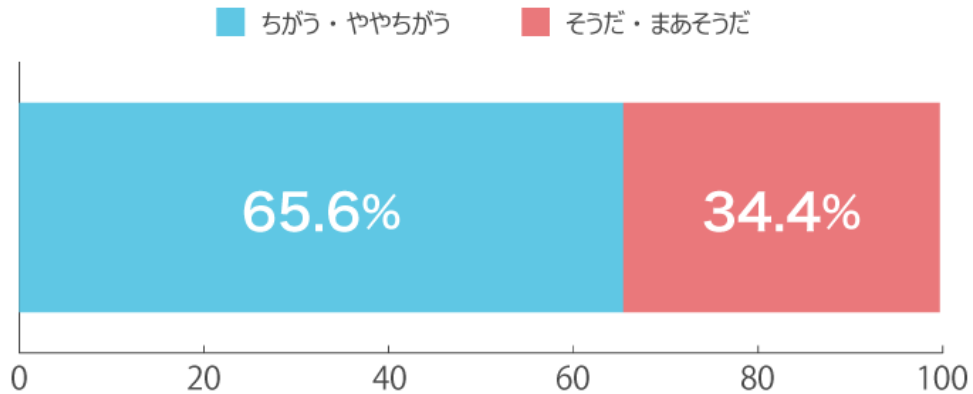


図5

私の職場の雰囲気は友好的である



© 2020 Doctor Trust Co., Ltd.

5. ハラスメントを受けていると感じている人は「怒りっぽい」可能性が高い

上位 3 尺度のうち、3 つ目はストレス反応である「イライラ感」です。尺度内には、ストレス反応としてのほかに「抑うつ感」、「不安感」もありますが、これらよりも「イライラ感」が上位であることから、気分が落ち込んだり不安になったりするよりも怒りの感情が沸いてくるという傾向にあることが考えられます。

6. ハラスメントは部署に起因するのか？ 本人に起因するのか？

本調査で、職場の対人や上司が特徴として挙げられたことから、「ハラスメントを受けていると感じている人」の職場では部署内の雰囲気が悪かったり、上司と部下でのコミュニケーションに問題が生じていたりする可能性が考えられます。

「イライラ感」も、「ハラスメントを受けていると感じている人」の特徴として挙げられていることから、ハラスメントを受けていると感じている本人が職場内でのやり取りがしにくい雰囲気を作り出しているという可能性も見逃せません。

「上司の公正な態度」というのも、本人の仕事が上手いかず、なかなか上司からの評価に結び付かないために周りとの接し方に温度感を感じてしまうといったこともあるかもしれません。また尺度「職場の対人関係」を導出する設問の一つ「私の部署内で意見の食い違いがある」についても、本人が周りの意見に合わせる事が苦手で、食い違いを引き起こしてしまっているという可能性を否定できません。

また、ドクタートラストが提供している外部相談窓口の相談員によると、相談者は「“自分は悪くない”という前提のことが多く、どちらが悪いかを決定しがち」の傾向があるようです。

上記のことから、一概に職場に問題があるのか本人に問題があるのかの線引きは困難といえます。

まずはハラスメントに該当する行為なのかの実態を調査できるよう、相談窓口の設置や社内規定の周知から始めていく必要があります。

【調査概要】

調査対象：ドクタートラスト・ストレスチェック実施サービス 2019 年度受検者の一部

対象受検者数：66,457 人

【全 42 尺度一覧】

仕事の量的負担、仕事の質的負担、身体的負担度、仕事のコントロール度、技能の活用度、職場の対人関係、職場環境、仕事の適性度、働きがい、活気、イライラ感、疲労感、不安感、抑うつ感、身体愁訴、上司からのサポート、同僚からのサポート、家族や友人からのサポート、仕事の満足度、家庭の満足度、情緒的負担、役割葛藤、役割明確さ、成長の機会、経済・地位報酬、尊重報酬、安定報酬、上司のリーダーシップ、上司の公正な態度、ほめてもらえる職場、失敗を認める職場、経営層との信頼関係、変化への対応、個人の尊重性、公正な人事評価、多様な労働者への対応、キャリア形成、ワーク・セルフ・バランス（ネガティブ）、ワーク・セルフ・バランス（ポジティブ）、職場のハラスメント、職場の一体感、(ソーシャル・キャピタル)、ワーク・エンゲイジメント

【ドクタートラストについて】

株式会社ドクタートラスト <https://doctor-trust.co.jp/>

株式会社ドクタートラスト（本社：東京都渋谷区、代表取締役：高橋雅彦）は企業ではたらく人の健康管理を専門に受託している会社です。産業医や保健師などの医療資格者が企業を訪問の上、健康診断結果に基づく健康指導、過重労働者面談を行います。また、100 万人超のビッグデータに基づく職場環境改善コンサル「STELLA」や、外部相談窓口サービス「アンリ」もご好評いただいております。その他 ストレスチェック、健康経営セミナー、衛生委員会のアドバイスなど、さまざまな業務を実施します。

ストレスチェック研究所 <https://stella-sc.jp/>

ストレスチェック研究所は、ドクタートラスト内に設置された研究機関です。ストレスチェックで得られた膨大なデータの分析を行うとともに、ストレス耐性が高く組織の強みである人材を「STELLA（ステラ）」と名づけ、これら人材を活用した強固な組織作りを目指す職場環境改善コンサル業務を行っています。

ストレスチェックサービスに関するお問合せ

株式会社ドクタートラスト 健康経営推進本部

TEL：03-3464-4000（代表）

企業さま用お問合せフォーム：<https://doctor-trust.co.jp/form/doctor/>